

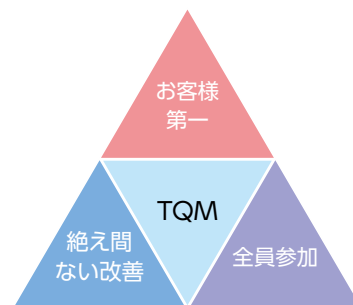
お客様との関わり

「お客様第一」「品質第一」で、製品・サービスと企業としての質を向上させる取り組みを進めています。

開発から生産まで一貫した品質保証

品質基本方針のもと、開発から生産まで一貫して品質を保証しています。全拠点で品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」※1「ISO/TS16949」※2の認証を取得。TQM※3の基本理念に基づき、拠点ごとに品質目標を立てて生産を行っています。また品質向上のノウハウやルールを盛り込んだ「品質システムグローバルスタンダード」を用いてグループ全社で品質を確保しています。

TQMの基本理念



- ※1 ISO9001：JQA-QM7318/QMA11826/QMA12841
- ※2 ISO/TS16949：JQA-AU0124
- ※3 品質向上のために「お客様第一」を基本に「絶え間ない改善」と「全員参加」により「品質・仕事の質」や「人と組織の活力」を高める活動(Total Quality Management)

製造工程での品質確保と品質問題への対応体制

クルマの基本性能(走る・曲がる・止まる)を支え安全に直結する部品(重要保安部品)の生産工程を中心に自工程完結※4を進めています。世界のお客様から「品質の豊田合成」と評価いただけるよう、全拠点で「品質安心宣言活動」※5を推進。自動化※6による「不良をつくれない・流さない」「工程づくり」と、品質に対する感性を高めて「ミスをしていない」「人づくり」の両軸で品質向上に取り組んでいます。さらに国内外の全工程で専任監査員による監査・改善を行っています。

市場で品質問題が発生した場合は、自動車メーカーからの情報に基づき速やかに原因を調査して、再発防止策を実行できる体制を確立しています。また、原因究明・解決が自社だけでは困難な場合は、テスト車両による検証などに

基づく的確な再発防止策を自動車メーカーの品質部門とともに講じ、以降の製品の品質不具合を未然に防止しています。



市場での信頼性向上活動

- ※4 各工程で品質確保に必要な行動を全て行うことにより、工程内で品質を造り込み、後工程に不良を流さないようにすること
- ※5 全員参加による品質改善の取り組みのこと。製造工程の全ての係が「人づくり」と「工程づくり」の両輪で品質改善を実施。目標とする品質を確保できる仕組みが出来上がった段階で、各係長が社長や拠点長に対し「安心宣言」を行い、社長・拠点長自身が現地現物で監査する
- ※6 機械設備の異常や、品質の異常、作業遅れなど何らかの異常が生じた際に、機械設備が自ら異常を検知して自動で停止するか、作業員自身が停止スイッチを押すかして、ラインを止められるようにすること

TOPICS

品質向上に向けた「品質安心宣言活動」の継続

継続的に改善ができる職場風土の醸成と、強い製造現場づくりをねらいに、2012年から「人づくり」「工程づくり」の両輪で品質向上に向けた活動を行っています。2016年度にはオペレータ目線に立った活動や、各工程の品質レベルに応じた目標を設定し、達成したら次の目標に向かってスパイラルアップする活動を開始しました。係単位で、やりやすい作業や品質不具合を改善し、クレーム「0」が達成できた段階で「安心宣言」し、担当役員が現地で改善内容をチェック。社長や担当役員が製造現場の責任者である係長と握手し「安心宣言」を約束します。



安心宣言が完了した係長に対し社長が、ねぎらいを表明するとともに活動継続を約束するために握手



社長による現地確認

TQM活動による企業体質の強化

「お客様第一」を念頭に、全従業員がそれぞれの立場で改善を続けるとともに、「品質・仕事の質」と「人と組織の活力」を向上させるTQM活動をグローバルに進め、豊田

合成グループ全体の企業体質を強化しています。2016年度は、国内外の優秀な改善活動事例の発表、相互研鑽の場として「TGグローバル小集団活動大会」を初開催しました。

TQM活動

階層	実施事項
管理職	職場マネジメント改善
事技職	小集団活動(グループ改善) SQC※1/QE※2実践力向上(技術系) ※1 SQC：Statistical Quality Control(統計的品質管理) ※2 QE：Quality Engineering(品質工学)
技能職	小集団活動(QCサークル)

海外拠点の小集団活動の実施率(2016年度)

78%

(生産会社29社/37社中)

TOPICS

「TGグローバル小集団活動大会」を初開催

豊田合成グループ全体で職場ごとのQCサークルやグループ改善の活動を活性化させることをねらいに「TGグローバル小集団活動大会」を初めて開催しました。これまでも日本、中国・台湾、豪亜、米州それぞれの地域で発表大会を行ってきましたが、今回はグローバル大会として、中国、ベトナム、インド、アメリカ、チェコや日本国内のグループ会社 計13社の役員や従業員が日本に集合。材料ロスの低減や事務処理業務の効率化など10事例の発表を約240人が聴講し、グループとして優れた活動事例を共有、相互研鑽しました。



お客様ニーズに即した営業活動

営業部門を中心に、世界のお客様と良好な関係を築きながら、多様なご要望に応え、販売を促進・拡大しています。お客様のニーズ・困りごとや、その他のステークホルダーからの幅広いご意見などを各地域の営業が定期的に情報

交換・検討の上、技術部門など社内との関係部署と連携。ニーズに即した開発案を提示し、満足いただける製品の提供に努めています。

TOPICS

グローバル営業ミーティングを開催

豊田合成(株)の営業本部や、米州・中国・欧州・タイ・インドにある豊田合成グループ会社の営業幹部が日本に集まり、グローバル営業ミーティングを開催しました。地域ごとの課題を踏まえた重点活動について情報共有したほか、世界戦略車の受注活動における地域間の連携に向けた進め方を議論しました。



お客様からの評価

品質向上の取り組みは、世界のお客様からも評価をいただいています。

品質に関する受賞(2016年度)

受賞会社	表彰元	表彰名
豊田合成(株)	日野自動車(株)	品質管理賞
	スズキ(株)	ベストパートナー賞
TGフルイドシステムズUSA(株)	トヨタモーターノースアメリカ(株)	Excellent Quality Award
GDBRインダストリアコメルシオ(有)	アルゼンチントヨタ(株)	Quality,Delivery,Cost Certificate Award
	ホンダオートモーベイス・ド・ブラジル(有)	Quality,Delivery Excellent Award
台裕橡膠工業(株)	裕隆日産汽車股份有限公司	優良メーカー賞
天津豊田合成有限公司	天津一汽トヨタエンジン有限会社	品質達成賞
	一汽トヨタ(長春)エンジン有限会社	
	長城汽車股份有限公司	品質向上賞
豊田合成(張家港)科技有限公司	広汽トヨタ自動車有限会社	品質優良賞
	天津一汽トヨタ自動車有限会社	
豊田合成(佛山)橡塑有限公司	四川一汽トヨタ自動車有限会社	
	広汽トヨタエンジン有限会社	
	広汽トヨタ自動車有限会社	品質協力賞
豊田合成(佛山)汽車部品有限公司	広汽トヨタ自動車有限会社	
豊田合成ミンダ・インディア(株)	マルチ・スズキ・インディア社	Improvement in Quality Performance Award
豊田合成サウスインディア(株)	トヨタキロスカ自動車(株)	Appreciation Award for Quality Activities
	トヨタキロスカオートパーツ(株)	Zero Defect Supplies
ミンダTGラバー(株)	トヨタキロスカ自動車(株)	Best Quality Supplier
英国豊田合成(株)	ジャガーランドローバー	Quality Award
豊田合成南アフリカ(株)	南アフリカトヨタ自動車(株)	Supplier Superior Award in Quality Management



TGフルイドシステムズUSA(株)がトヨタモーターノースアメリカ(株)からExcellent Quality Performance Awardを受賞



豊田合成(張家港)科技有限公司が広汽トヨタ自動車有限会社から品質優良賞を受賞



豊田合成南アフリカ(株)が南アフリカトヨタ自動車(株)からSupplier Superior Award in Quality Managementを受賞

従業員との関わり

「人間性の尊重」と「安全最優先」を基本に、従業員が安心して意欲的に働ける職場づくりに努めています。

自分で考え行動するグローバル人材を育成

グローバルでの豊田合成(株)の総合力を高めるため、それを支える人材育成と、従業員一人ひとりが能力をフルに発揮できる職場環境づくりを進めています。

人材育成の3本柱

世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成

地域・事業を統括できる次世代リーダーの育成

高い専門性と広い視野を併せ持ったプロ人材の育成

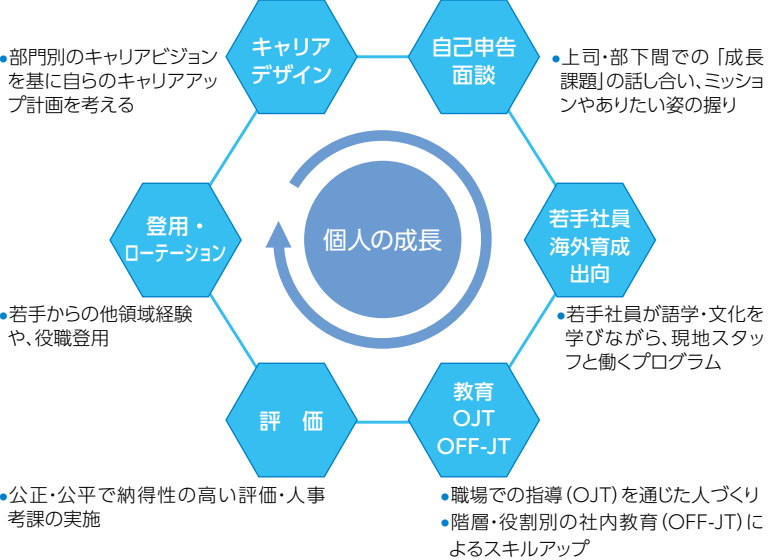
成長をサポートする、人材育成の枠組み

豊田合成グループでは、人事管理制度を柱に、一人ひとりの中長期的なキャリアデザインの見える化や自己申告面談、仕事の経験の幅を広げる若手からのローテーションの実施、そして従業員に必要な能力・スキルの習得の機会となる階層別教育・専門教育を充実させています。

若手育成出向
(2016年度)

17名

人事育成のサイクル

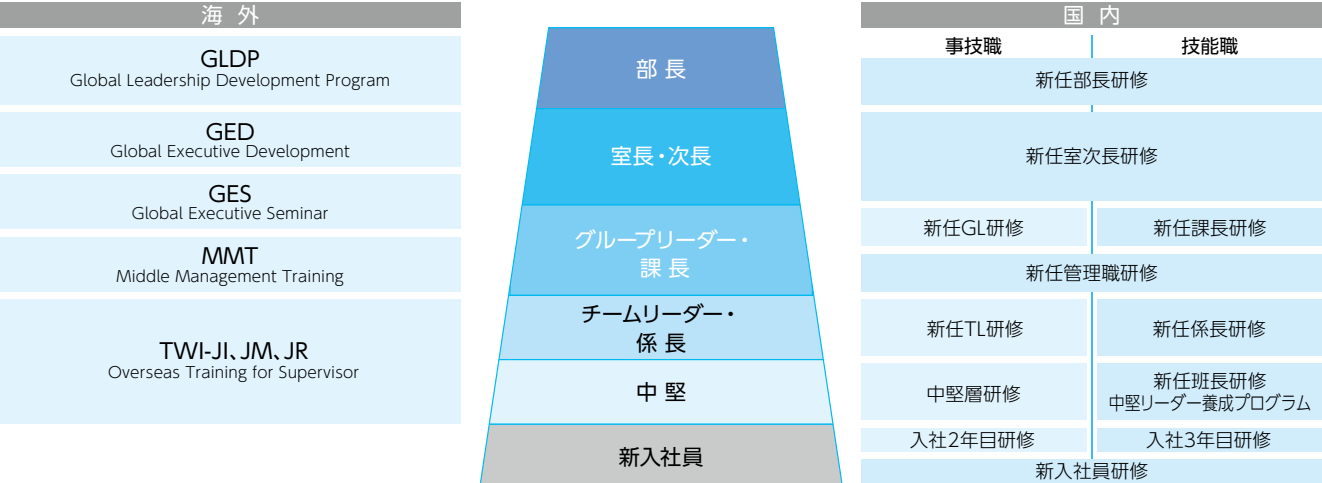


教育プログラムを充実し、人材育成を活性化

キャリアビジョンに基づき、グローバルに活躍できる人材、次世代リーダーなどの育成に向けた様々な施策や研修プログラムを整備するとともに、海外を含めた全グローバ

ル社員に向けての人材育成プログラムまで幅広く手掛けています。

階層別教育体系



若手のひとり立ちから、次世代リーダーまでの段階的なサポート

新入社員教育を6ヶ月間実施し、社会人・仕事の基本から、ものづくり現場での実習と、豊田合成(株)で働く上で必要な知識・経験ができる機会を提供。また、入社3年目

までの「ひとり立ちプログラム」、そして職場でのOJT支援者制度を設けるなど、若い階層から次世代リーダーの育成までしっかりと成長をサポートしています。

ものづくり技術・技能の向上へ

技術・技能の専門能力・スキルの向上のため、全社での「ものづくり技術・技能の教育プログラム」を実施しています。ものづくりの現場に必要な技量の向上に向けた「も

のづくり技能訓練」の拡充も図っています。

豊田合成(株)のものづくりに必要な、固有の技術向上・伝承を目指し、新たな教育・訓練に取り組んでいます。

グローバル人材育成のために

グローバル競争に勝ち抜き、発展していくためには、世界を舞台に活躍できる人材の育成は必至です。日本人のグローバル化、そして海外現地スタッフの育成にも取り組ん

でいます。海外拠点トップ層・マネジメント層の教育をはじめ、仕事に必要な専門知識など、全世界共通教育の推進を図っています。

TOPICS

「技能教育」を拡充

ものづくりの会社としての競争力の源泉である強い現場づくりをねらいに、生産現場で働く従業員の階層別や専門領域ごとの技能系教育を拡充しています。2017年4月に入社した技能職57名を対象に、約半年間にわたる技能教育を実施。生産現場での安全の基本(危険さの模擬体験)をはじめ、金型保全の実習や、2足歩行ロボットの製作、自転車の分解・組み立てといったものづくりの基礎教育を行った後、60日間にわたりものづくりの生産現場で実習を行っています。



金型保全の実習

欧州で「ミドルマネジメント研修」を初開催

2016年10月、豊田合成チェコ(有)で、欧州で初となるミドルマネジメント研修を開催しました。欧州にあるTGグループ3社の管理職18人が参加しました。その内容はマネジメントの基本や問題解決手法など管理職として不可欠な知識・スキルを高めるもので、2020年までにすべてのマネージャーの受講を目標に世界各地で行っています。また、この研修を2020年以降も各地域で続けるためトレーナー養成も並行して進めています。



研修風景/TGチェコ

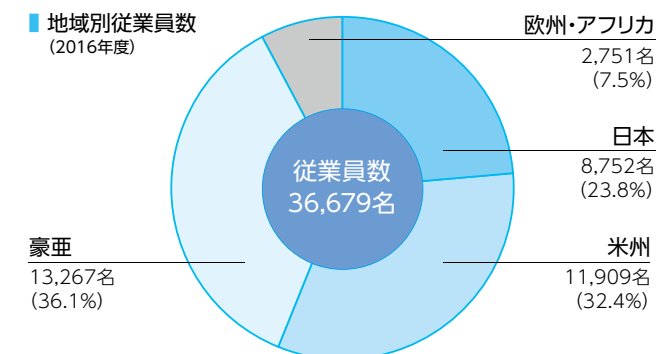
人材の雇用

雇用の安定を図るとともに、従業員が働きやすい環境・制度を整備し、多様性を尊重した公正・公平な採用・育成を図っています。

■ 豊田合成(株)従業員の構成(2016年度)

	男性	女性	計
従業員	5,803名	666名	6,469名
平均年齢	42.3歳	38.7歳	41.9歳
平均勤続年数	18.5年	15.1年	18.1年

■ 地域別従業員数(2016年度)



職場マネジメントアンケートの実施

豊田合成(株)では、「職場マネジメントアンケート」を通して職場の問題点を把握し、風土改善や人材育成に活かしています。従業員の意欲や上司・職場に対する考えを毎

年調査し、その結果に基づき各部署が弱点項目を計画的に改善しています。社内外の良い事例を紹介して改善を促すほか、課題が多い部署の支援も行っています。

□ ダイバーシティ※の促進

従業員が多様な個性を活かし、能力が十分に発揮できる風土づくりに取り組んでいます。また、定年退職者や障がい者の雇用を促進し、安心して働ける環境を整えています。

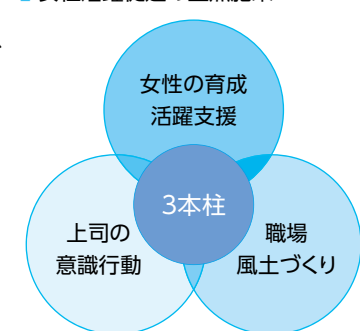
※ダイバーシティ：多様性を意味し、人種・国籍・性別・年齢・障がいの有無を問わずに人材を活用すること。

女性の活躍支援

2010年に専門組織を設け、①女性の育成・活躍支援、②上司の意識行動改革、③職場風土づくりを3本柱として取り組んでいます。例えば、女性社員を対象とした「キャリアデザインフォーラム」では、参加者同士の意見交換を通じてモチベーション向上を図り、基幹職を対象とした「女性活躍促進大会」では、マネジメント上の課題に関して具体的な対応策の紹介をするなど、女性・上司双方の意識改革に取り組んでいます。今後も活動を促進し、2020年ま

でに①女性基幹職数を3倍以上(対2014年比)、②新卒(事技職)の女性採用比率を20%以上とすることを目指します。

■ 女性活躍促進の重点施策(3本柱)



TOPICS

「女性活躍促進大会」を開催

豊田合成(株)の役員・管理職を対象に女性活躍促進大会を開催しました。管理職が女性従業員の活躍促進に対する経営の考え方や取り組みの必要性を認識し、意識・行動改革へ繋げることをねらいに、2015年から実施しています。今回は「女性部下の活躍を促進するマネジメント」をテーマに、職場での具体的な事例を紹介したほか、キャリア・カウンセラーで当社研修の社外講師でもあるJUNO代表の柴田氏によるご講演をいただきました。



仕事と家庭の両立支援

豊田合成(株)では、従業員一人ひとりが仕事(ワーク)と家庭生活(ライフ)のバランスを考えて自分の働き方を選択できる制度を整え、安心感と意欲を持って働けるよう支援しています。「育児デー」「祝日社内託児」に加え、育児と仕事の両立を希望する従業員のキャリア支援として「育キャリアセミナー」を実施。育休取得者・予定者が集まり、育児と仕事を両立している従業員の発表やグループ討議などを通して、職場復帰後のキャリアについて考えています。また、介護支援の情報もイントラネットなどで公開しています。

育児休業 **35名**
介護休業 **2名**
短時間勤務 **53名**
(育児52名、介護1名)
2017年1月1日時点の利用者数

これらの次世代育成の取り組みにより厚生労働省から「子育てサポート企業」として認定を取得。今後も、育児・介護の支援制度が利用しやすい職場環境づくりのための啓発を行うとともに、継続的な支援と施策の充実を行います。



次世代認証マーク：くるみん



祝日託児所



育キャリアセミナー
(育児と仕事の両立の支援)

障がい者が働きがいを持ち、定着できる職場づくり

積極的に障がい者を雇用しています。「障がい者雇用推進委員会」を主体に、採用・配属・教育・職場定着・啓発を実施。特に職場定着に重点を置き、定期面談などを通して現状を把握し、点字ブロックやエレベーター、音声案内、非常用階段避難車チャリダンの設置により職場環境を改善しています。また、障がい者が従事できる仕事を明確化し、計画的に採用・配属を行っています。2016年度時点で、122名の障がい者を雇用し(2017年1月1日現在)、雇用率は目標(法定雇用率2.0%以上)を超える2.39%に達しました。

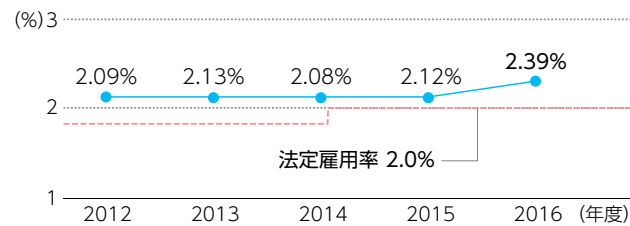


手話による職場内コミュニケーション

障がい者雇用率
(2016年度、豊田合成(株)単独)

2.39%

障がい者雇用率の推移(豊田合成(株)単独)



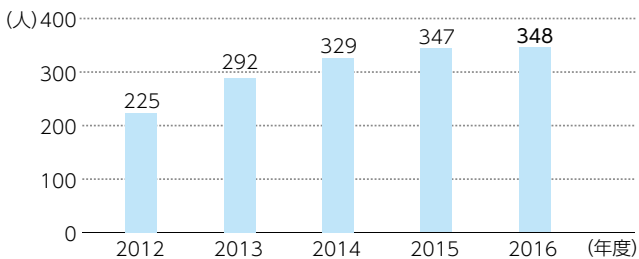
定年後も安心して働ける環境づくり

「定年後再雇用制度」により、定年後でも安心して働ける環境を整えています。再雇用後も多くの方が高い技術力・経験を活かし、活躍しています。また、短日・短時間勤務を拡充し、ワークライフバランスのとれた働き方が実現できるよう支援をしています。

定年後再雇用者数
(2016年度)

348名

定年後再雇用者の推移



充実したセカンドライフに向けたサポート

一生懸命働いてきた従業員が豊かなセカンドライフをおくれるよう若い世代から、資産形成の研修を必修で開催しています。入社時、30歳、40歳、55歳それぞれの年代に応じたカリキュラムで、ライフイベントに備え計画的に資産形成ができるよう制度面の充実を図りながらサポートをしています。55歳研修では配偶者も参加いただいています。

従業員の一休感の醸成

従業員が誇りや喜びをもてる職場風土づくりに努めています。

職場の一体感・家族や地域との絆を深めるイベントの開催

豊田合成(株)では2015年より職場の一体感醸成をねらいに「全社駅伝大会」を実施しています。2016年度は約400名の選手が各職場や家族約1,000名の応援団の大きな声援を受けながら、たすきをつなぎました。順位にもこだわりますが、何よりも職場の団結力やコミュニケーションが高まり、ゴール後は笑顔に包まれます。

また、家族の絆や地域の交流を深める「TGフェスティバル」や「森町納涼祭」を開催しています。

家族のサポート、地域のみなさまのご理解とご協力がある豊田合成(株)ですので、感謝とおもてなしの心を込めてイベントを企画しています。

豊田合成(株)が誇る強化クラブのご紹介

豊田合成(株)には約18の文化・体育クラブがあり、イキイキと活動しています。その中でも特に強化を図っているクラブは次の3部です。2020東京オリンピックでの活躍を目指している選手もいます。また、地元の小中学校へボランティア訪問し、ジュニア育成にも貢献しています。

主なクラブ活動の成績

バレーボール部 「トレフェルサ」	2015年12月	天皇杯優勝
	2016年 3月	Vリーグ優勝
	2016年12月	天皇杯準優勝
ハンドボール部 「ブルーファルコン」	2016年 3月	日本リーグ5位
	2016年 9月	全日本社会人選手権5位
バスケットボール部 「スコピオンズ」	2016年11月～	BリーグB3にて活躍中

確定拠出年金における
加入者掛金*実施率

77.3%

(2017年2月時点)

* 加入者掛金とは会社掛金に上乗せして加入者本人が任意で拠出できる掛金



充実したセカンドライフに向けたサポート



第2回全社駅伝大会



TGフェスティバル



バレーボール部



ハンドボール部



バスケットボール部

■ 心身の健康維持・増進のために

従業員の心身の健康維持・増進のための施策を行っています。

■ 健康教育体系

部長	室長・次長	グループリーダー・課長	チームリーダー・係長	班長	一般
節目年齢(35歳・45歳)健康教育/ロコモティブシンドローム予防セミナー					
管理監督者メンタルヘルス教育					
メンタルヘルス室次長教育					
メンタルヘルス(フォロー)教育					

メンタルヘルス不調の未然防止・早期発見

豊田合成(株)では、管理監督者を重点に階層別のメンタルヘルスの定期教育を行い、職場のメンタルに配慮した運営と円滑なコミュニケーションを促しています。また、全従業員にはメンタルヘルスの教育通信を月に1回配布し、セルフケア能力の向上を図っています。各事業所では

社内の保健師・看護師と外部カウンセラーがカウンセリングにあたり、心の健康の維持・促進を図っています。

2016年は、法改正に対応して、全従業員を対象にストレスチェックを実施しています。

健康維持・増進活動強化

豊田合成(株)では、従来から生活習慣病予防のため、節目年齢の従業員に対する健康教育や、各種掲示物による啓発活動を行っています。企業の持続的成長には全従業員の心と身体の健康が不可欠であるとの考えに基づき、2016年は健康活動を強化しました。健康を知り・考える契機とすることを目的に外部講師を招き、経営層・管理者向けの健康・卒煙講演会を開催するなど、新たな啓発活動を行いました。

さらに知識習得にとどまらず、実際に健康づくりのための行動を促す施策として、職場単位での健康活動や所定労働時間内禁煙化を実施しました。

これらの活動も含め、従業員の健康管理を経営視点で考え、取り組みを推進していることが評価され、2017年2月、経済産業省と日本健康会議*が選定する「健康経営優良法人2017～ホワイト500～」の認定を受けることができました。



※ 日本健康会議：少子高齢化が急速に進展する日本において、国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、民間組織が連携し行政の全面的に支援のもと実効的な活動を行うために組織された活動体のこと。

TOPICS

「健康講演会」を初開催

豊田合成(株)では2016年度を「健康元年」と位置づけ、従業員一人ひとりが健康意識を高め、自ら行動に移す契機とする健康維持・増進の取り組みを強化しています。その一環として、各職場の管理職を対象に自発的な運動習慣の重要性などに関する講演会を開催し、生活習慣病予防のために職場単位でできる健康行動・活動などを紹介しました。

現役の看護師で、生活習慣病予防の促進などに尽力されている森山氏(生活習慣研究所 所長)の講演



■ 災害「ゼロ」を目指して活動を推進

豊田合成(株)では、社長が全社統括安全衛生管理者として全拠点を統括し、「安全人づくり」と「安全職場づくり」の両輪で災害「ゼロ」を目指しています。

2016年度の「安全人づくり」では、安全教育の基本としているKYT(危険予知訓練)の原点に立ち返り、第4ラウンドのうち第1ラウンドである「危険抽出の気付き力」向上に重点を絞り、監督者から作業員への教育方法の充実を図



安全こだわり活動発表会

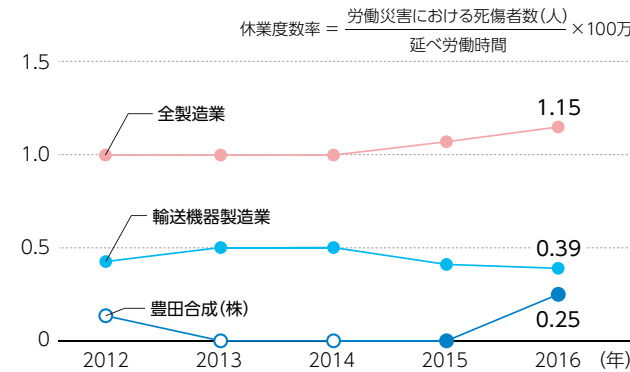
りました。

「安全職場づくり」活動では、重大災害の撲滅を目指し、工作機械、産業用ロボットの安全対策の遵守状況を点検・指導しました。製品の出荷場では人とフォークリフトを柵などの固定物で分離して安全を確保しています。海外のグループ会社でも同様の取り組みの導入を進めています。



安全KY道場

■ 労働災害発生率(休業度数率)の推移



■ 2016年度の主な活動

実施事項	
安全人づくり	一人ひとりの意識付けと管理監督者の指導力向上 (1) 職場毎の安全こだわり活動と発表会による意識啓発 (2) 管理監督者への安全教育と能力評価 (3) 有機溶剤など有害物取扱い作業場の作業環境向上教育
	過去災害の再発防止のため、過去災害の周知・伝承活動
	OSHMS運用による安全活動のマネジメント力向上
安全職場づくり	原点に立ち返ったKYT(危険予知訓練)の基本教育
	重大災害につながる工作機械、産業用ロボットの安全対策遵守
	出荷場におけるフォークリフトと人の接触防止対策
	外来工事の安全管理
一人ひとりが考えた職場の安全宣言活動	

■ 「労使相互信頼・相互責任」のもと、社員がイキイキと働ける職場をつくる

労使関係の基本理念「相互信頼・相互責任」のもと、会社と労働組合がより良い職場環境を目指し、労働条件を話し合います。「中央労使協議会/懇談会」「本部・センター労使協議会/懇談会」「部門労使協議会」などを定期的開催し、労使が対等に話し合い、「労使双方向コミュニケーション」

のさらなる向上を目指しています。特に「部門労使協議会」では、職場での困り事などを部門長と職場の代表である職場委員長が話し合い、さらなる働きやすい職場づくりを目指しています。

株主との関わり

企業価値の向上と積極的な情報開示に努めています。

■ 業績と利益還元

当期の売上高については、主に為替の影響やオプトエレクトロニクス事業での販売の減少などにより、7,556億円（前期比3.4%減）と、減収となりました。利益については、国内外での自動車部品事業の増販効果や合理化はありましたが、為替の影響やオプトエレクトロニクス事業での販売減少などにより、営業利益は406億円（前期比5.0%減）、経常利益は390億円（前期比6.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は162億円（前期比19.9%減）と減益となりました。

この結果、1株当りの年間の剰余金の配当は53円とさせていただきます。

■ 適正な情報開示

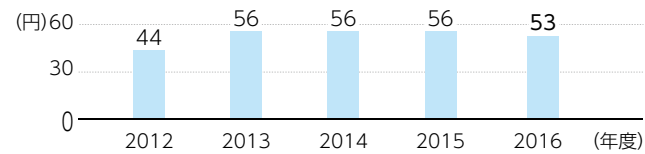
ウェブサイトやIRツール（決算短信、決算説明会資料など）での定期的な情報発信と、決算説明会の開催やIRイベントへの参加などを推進し、適切な情報開示に努めています。

具体的には、機関投資家や証券アナリストを対象に決算説明会やテレフォンカンファレンスを年4回開催するとともに、ウェブサイト上でも同説明会の資料や財務情報を適

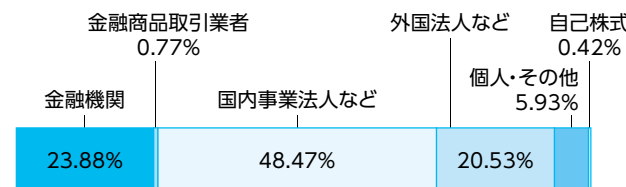
■ 主なIR活動

対 象 者	I R 活 動
国内機関投資家・証券アナリスト	個別面談、決算説明会、工場見学会、テレフォンカンファレンス ●「豊田合成レポート」発行
海外機関投資家	個別面談、IRイベントへの参加 ●ウェブサイトによる財務・IR情報の発信
個人株主・投資家	●個人投資家向け説明会 ●株主総会後の工場見学会 ●「業績のご報告」発行

■ 配当金推移



■ 株式保有者別分布状況 (2017年3月31日)



宜公開しています。個別面談にも対応し、国内外の多くの投資家の皆様に情報を提供しています。また、機関投資家や証券アナリスト向けに工場見学会を開催し、当社の技術力をPRしたほか、海外機関投資家向けのIRイベントへの参加、個人投資家向けの説明会の開催など当社をより深くご理解いただけるよう努力しています。



決算説明会／東京



海外投資家との個別面談／東京

TOPICS

「アナリスト・機関投資家向け工場見学会」を初開催

豊田合成(株)を定期取材いただいている証券会社のアナリストと当社株式を保有・運用いただいている機関投資家を対象とした工程見学会を稲沢工場で開催し、25名の皆様にご参加いただきました。当社の技術力や将来性に関する理解を深めていただくために、内外装部品の最新のめっき・塗装工程や、生産工程の省スペース化・無人化の取り組みなどを現地現物で見学いただきました。



工場見学会のようす

サプライヤーとの関わり

サプライヤーの皆様とパートナーシップを深め、さらなる成長・発展をともに目指しています。

■ サプライヤーとの連携強化

円滑な事業推進のため、サプライヤーとのパートナーシップを大切にしています。豊田合成(株)では毎年4月、製品・加工・資材・設備・金型のサプライヤー約200社への「調達基本方針説明会」を開催。事業環境や目指すべき方向など、今後の課題と取り組みを理解いただき、安全・品質・納期・原価・技術・グローバル展開・CSRなどの年度の調達方針を共有しています。また、各分野で功績のあったサプライヤーに感謝の意を込めて表彰し、全サプライヤーに一層の協力をお願いしています。さらに年4回、サプライヤー

約100社への「調達連絡会」を開催。生産情報の共有や品質向上・コンプライアンス・安全・地震対策・機密管理・化学物質管理・人材育成などについて情報を共有しています。



調達方針説明会／日本



調達連絡会／中国

■ とともに成長するためのサプライヤー支援

サプライヤーの体質強化を現地・現物で支援し、ともに成長できるよう取り組んでいます。重要な品質問題を防ぐための標準作業の整備や不良流出の防止、競争力向上のための原価低減に加え、金型・製品設計へのサプライヤーの参画などを支援しています。また分科会活動を通じて、品

質面では品質向上に必要な情報をサプライヤーと共有。防火・防災・安全においては、労働安全衛生法の遵守の点検やリスクアセスメントなどを行い、安全な職場づくりを支援しています。

■ グリーン調達の推進

「環境マネジメントシステムの構築」、「法令遵守と環境パフォーマンスの向上」、「化学物質管理」からなる、当社の「グリーン調達ガイドライン(第4版)」を基に、環境に配慮した調達を進めています。環境負荷の低減に向けて、サプライヤーの社内組織・体制の充実と生産活動のレベルアップを図り、ISO14001の認証取得・省エネ・排出物削減などの成果を上げています。また化学物質のグローバルで

の規制強化に対応し、調達品の化学物質の成分把握を行っています。さらに欧州ELV^{※1}指令や欧州REACH規制^{※2}への対応や、VOC^{※3}管理などをサプライヤーと一体となって進めています。

※1 使用済み車両(End of Life Vehicle)

※2 化学物質の登録・評価・認可・制限に関する規則(Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals)

※3 揮発性有機化合物(Volatile Organic Compounds)

TOPICS

「サプライヤー向け経営セミナー」を開催

サプライヤーの業績向上に向けた取り組みを支援するため、経営層向けに経営実態の把握と分析力向上のためのセミナーを2016年度から開始しました。今回はサプライヤー33社から経営層各1名に参加いただき、公認会計士の荻谷公平氏・上田圭佑氏から「安定的な取引関係を継続するための経営管理」をテーマとした講演を聴講いただきました。



地域社会との関わり

地域に根ざした企業として、幅広い社会貢献活動を行っています。

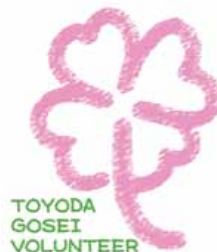
住みよい地域社会づくりに貢献

自動車部品メーカーとして交通安全の啓発をはじめ、「社会福祉」「環境保全」「青少年育成」「地域防犯」を重点に地域に根ざした社会貢献に取り組んでいます。従業員の意識・意欲の向上のため、社内表彰制度や新入社員教育などを取り入れ、従業員一人ひとりが自発的・積極的に取り組み、地域の人々とふれあいながら、ボランティアの輪を広げています。

また毎年、国内外の全事業所で一斉に地域の特色に応じ

た貢献活動を行い、海外拠点でもボランティア活動を通して地域社会とより良い関係を築いています。

東日本の復興支援では、当社製のLED防犯灯を寄贈し、明るい街づくりに貢献しています。



ボランティアマーク

社会福祉



ハートフルメニュー

食堂のメニューに、1食ごとに10円が募金される「ハートフルメニュー」を設定。集められた募金で車イスやリハビリ器具を購入し、地域の福祉施設や学校へ寄贈しています。



車イスドクターズ

1996年から続けている従業員の有志サークル。地域の福祉施設などを毎月訪問し、年間500台以上の車イスの修理・調整を行っています。



障がい者授産施設の物品販売

障がい者授産施設に通う方たちの自立支援のため、事業所内で手づくりパンや焼き菓子を販売する場を提供しています。収益金は施設の運用資金として活用されています。



高齢者・生活困窮者への寄付

中国の天津星光橡塑有限公司で、タオル・石けんなどの生活用品5,000元分を高齢者・生活困窮者へ寄附しました。



マングローブを植林

タイの豊田合成アジア(株)で地球温暖化対策としてマングローブを植林しました。



新入社員の社会貢献教育

社会性・協調性の向上と視野の拡大を目的に、障がい者とのふれあいを通じて「障がい」を正しく理解し、サポートのあり方や思いやりの心を学びます。

環境保全



エコ先端工場

平和町工場をエコ先端工場として、近隣の小学生を招いて、環境意識の向上を目的としたLED体験教室などを行っています。



地域の清掃活動

事業所周辺の定期的な清掃活動に加え、年2回「全社一斉地域清掃活動」を実施。従業員の家族や地域の皆様など2,500名以上が参加しています。

青少年育成



一宮少年少女発明クラブ

子どもたちに「ものづくり」を楽しむ場を提供し、創造性を育むため、開設当初から企画・運営などを全面的に支援しています。

地域防犯



スポーツ支援

青少年の健全育成のため、地域の小中学生を対象に、バレーボール・ハンドボール・バスケットボール部の当社選手が指導を行っています。



防犯パトロール

事業所周辺の防犯エリアを従業員ボランティアが巡回し、子どもや地域の安全・安心を見守っています。



交通安全立哨

交通事故の撲滅と高齢者の保護のため、交通安全の啓発を実施。毎月ゼロ(10日、20日、30日)の日に、事業所周辺に従業員が立ち、地域の人々へ交通安全を呼びかけています。

東日本復興支援



交通安全の啓発活動

事業所周辺の14ヶ所の保育園・幼稚園に従業員約50名が出向き、紙芝居やビデオで園児たちに交通安全の大切さを伝える活動をしています。



LED防犯灯寄贈

被災地の明るく安全な街づくりに活用いただくため、2012年より当社製のLED防犯灯を寄贈しています。



東北物産品の販売

被災地に行かなくても復興支援ができるよう、東北地域で人気の銘菓や、食料品などを取り扱った「東北物産展」を、国内13拠点の食堂で開催しています。

ガバナンス

高い企業倫理を基盤に、社会的責任を果たし社会から信頼される企業であり続けることを目指しています。

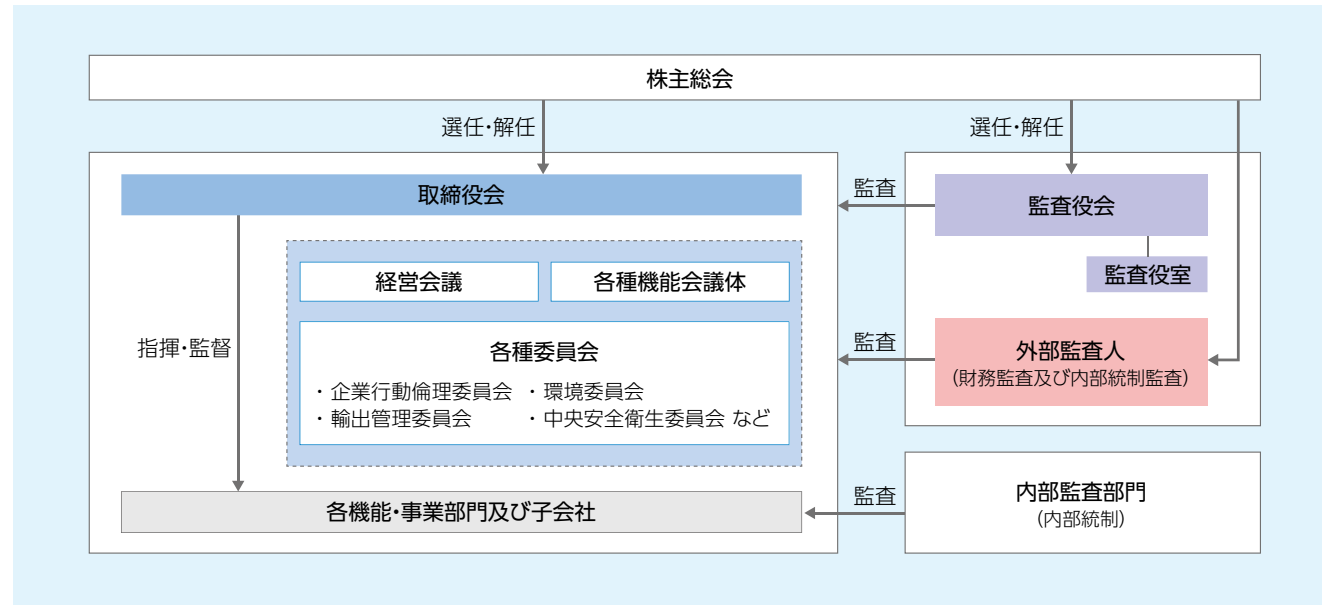
■ コーポレートガバナンス

社は「限りない創造 社会への奉仕」のもと、社会の発展に貢献し、着実に事業成長するグローバル企業を目指しています。その実現のため、株主価値の視点からコーポレートガバナンスを強化しています。さらに全てのステークホルダーからの期待に応えられるよう、環境変化に素早かつ確に対応できる組織体制と、公正で透明性のある健全な経営システムを維持しています。

具体的には、環境変化への柔軟な対応と経営責任の明確

化のため、取締役の任期を1年に限定するとともに、執行役員を設置して業務執行を経営監督から分離しています。経営の透明性と健全性をより高めるために、2015年6月に導入した社外取締役を2016年6月からは複数名とし、取締役会の経営の監視・監督の機能のさらなる強化を図っています。また、重要事項を審議・決定し、業務執行をチェックするための会議体・委員会を設置しています。

■ コーポレートガバナンス体制図



監査体制としては、社外監査役3名を含む監査役5名を置き、監査役・監査役会が取締役の職務執行を監督・監査します。また内部監査機関である監査部が、監査計画を監査役と協議するとともに、定期的に会合を持つなど、密接に情報交換・連携しています。さらに会計監査人とも連携し、監査機能を強化しています。加えて、監査役による監査の独立性・実効性の向上と、監査業務の円滑化のため、監査役会直属の監査役室も設置しています。

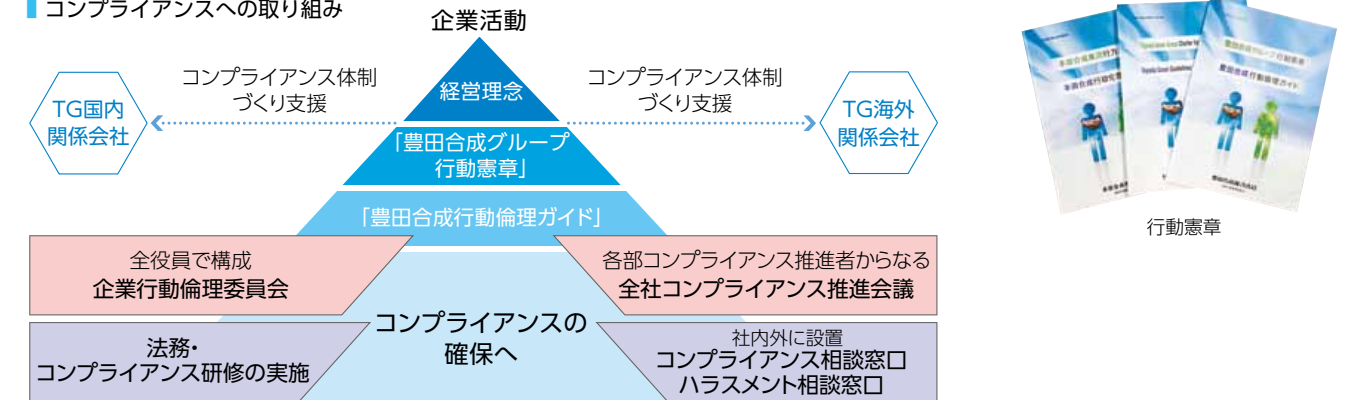
グループ経営においては、グループ会社の健全な内部統制環境を整えるため、グループ全社と「経営理念」「行動憲章」を共有しています。子会社の経営の自主性を尊重しつつ、定期的に事業報告を受けるとともに、事前承認・報告を通じて子会社の業務の適正性・適法性を確認しています。さらに、重要な子会社には取締役や監査役を派遣し業務執行を監督しています。

■ コンプライアンスの推進

法令遵守はもちろん、企業倫理の観点からも従業員一人ひとりが高い倫理観を身につけて行動できるよう、コンプライアンスを徹底しています。豊田合成グループ共通の価値観と行動規範を「豊田合成グループ行動憲章」として定め、これを基に国内外のグループ全社が各社の行動指針を具体化。豊田合成(株)では「豊田合成行動倫理ガイド」を

策定し、全従業員に配布しています。また、社長を委員長とし、全役員をメンバーとする「企業行動倫理委員会」を組織し、各部門のコンプライアンス推進者とともに、経営と現場が一体となりコンプライアンスを徹底しています。さらに、コンプライアンスに関する問題の早期解決のため、社内外にコンプライアンス相談窓口を設けています。

■ コンプライアンスへの取り組み



継続的な啓発活動

全従業員のコンプライアンスの意識向上のため、啓発活動を継続しています。階層別・リスク別の従業員研修の定期的な開催をはじめ、社内報ではマンガ形式で具体的に分かりやすく事例を紹介し、社内掲示板（イントラネット）にも裁判例などの解説を配信。各部門でも、それぞれが抱えるリスクを自ら認識・予防するために、自律的・計画的にコンプライアンス教育を行っています。さらに、毎年、全従

業員のコンプライアンスの理解度をアンケートで確認し、各部門で不具合点を改善しています。

■ 主な研修

研 修 名	開催回数	参加者数
新入社員研修	2回	134名
新任管理者研修	1回	72名
指名者法務研修(中堅社員向け)	6回	236名
独禁法・贈収賄防止研修(海外拠点向け)	4回	76名

国内外関係会社の体制強化

豊田合成(株)は、国内外のグループ会社がコンプライアンスを自律的に推進できるよう支援しています。国内では、毎年、コンプライアンス連絡会で情報を共有し、各社が自ら潜在リスクを洗い出して発生防止策を実施する「課題

解決活動」を継続しています。海外でも、各国・各社のリスクに応じた計画的なコンプライアンス活動を促進しています。特にリスクの高い地域の拠点を中心に独禁法・贈収賄防止の研修を継続して行っています。

TOPICS

インドで「コンプライアンス研修」を実施

2016年度はインドのグループ会社2社でコンプライアンス研修を開催し、現地従業員と日本人出向者計76名が参加しました。インド現地の弁護士と日本人弁護士を講師に招き、グローバルでリスクが高まっている独禁法と贈収賄について、法規制のポイントと実務上の留意点を学びました。さらにインド労働法は州ごとに法令が存在するなどインド特有の事情についても理解を深めました。



■ リスクマネジメント

大規模な災害を想定した対策や、企業の情報資産を守る情報セキュリティ対策を進めています。

大規模地震を想定した「危機管理統括プロジェクト」

豊田合成(株)では、南海トラフ巨大地震などの大規模災害を想定して、「人命第一」「地域支援」「早期復旧」を基本とする危機管理体制を整えています。具体的には「危機管理統括プロジェクト」を中心に、「初動対応の整備・充実」と「速やかな生産復旧に向けた対応手順の明確化」を柱に、災害時の対応力を強化しています。ハード・ソフト面の対策に加えて、災害時の対応者のスキルが不可欠と考え、役員をはじめとする対策本部メンバーの「レジリエント訓練」(災害模擬演習)を2013年度から全社で延べ60回以上実施。また生産復旧体制の整備として、被災した建屋・設

備・工程の復旧と代替生産の手順の具体化を進めています。被災後も製品開発を継続できるよう、設計図面データなどの復旧訓練も行っています。

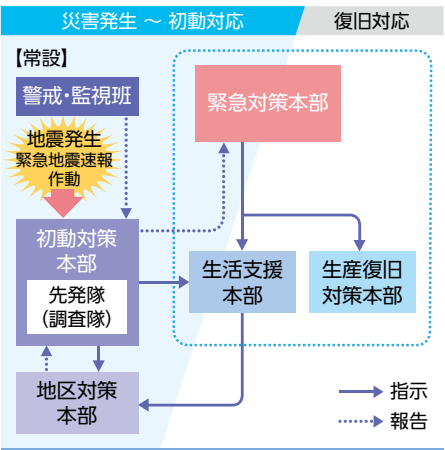
2016年度には、関係会社・仕入先の危機管理強化の研鑽会を各々2回実施。「地震対策実施状況チェック表」による評価、グラフ化による弱点の明確化、当社や他社の対応事例の紹介や事業継続計画書の作成協力などを行いました。また、納入箱の被災対応、物流復旧対応について、対応手順を整備しました。

■ これまでの取り組み

区 分	実 施 事 項
ハード	●建物・設備の耐震対策 ●災害時の全社の対策本部基地となる防災センターの設置 ●MCA無線※1、衛星電話の全拠点への配備 ●危機管理サーバー(免震構造)、非常用発電機の設置 ●DR※2、DC※3の運用
ソフト	●敷地建物安全判定の導入 ●サプライチェーン情報の整備 ●タブレット型パソコンを使った多拠点同時テレビ会議システムの導入 ●地震速報システム、安否情報システムの運用訓練 ●出退勤・出張データを取り込んだ安否確認フォローアップシステムの運用 ●事業継続計画書の作成

※1 日常の業務から緊急・災害時まで様々な用途で使用される無線
※2 被害を受けたシステムを復旧・修復する体制(Disaster Recovery)
※3 コンピュータやデータ通信などの装置の設置・運用に特化した施設の総称(Data Center)

■ 災害対応イメージ



TOPICS

「レジリエント訓練」を実施

有事の際の役員・従業員の対応能力を向上させるためのレジリエント訓練では、有事に発生する様々な被災状況を映像や音声などで参加者に投げかけ、刻々と変化する状況に臨機応変かつ適切に対応できるかを把握します。それを通して対応内容や手順を検証し、課題解決・改善へと繋げています。これまでに延べ1,200人の役員・従業員が参加しており、サプライヤー41社・240人にも参加いただきました。さらに地区対策本部長をサポートする「本部指揮者」を各事業所に4人程度設置し、講習会などを通して有事の際のルール・基礎知識や、当社の抱える課題や対応指針を共有。事業所ごとに工場レイアウト・対策本部組織図・被災状況の情報整理ボードの整備といった改善を続けています。



情報セキュリティ対策の強化と意識向上

機密情報の管理強化のため、情報セキュリティ対策を徹底しています。「機密管理規程」に基づき、全部門のルール遵守状況を年1回点検するとともに、現地監査も実施。国内グループ会社、海外拠点でも自主点検を行っています。

また全部門に機密保持責任者を置き、「情報システムセキュリティ運用標準」や「機密情報管理のてびき」などを基に機密管理の啓発活動を行い、新入社員に対しては機密管理教育を行っています。

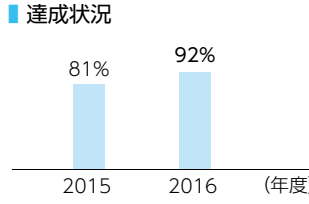
■ 対策例

区 分	実施事項
過失による漏洩防止	ハード ●複合機、図面専用印刷機のIDカード認証による印刷制限 ソフト ●全パソコンのデータ暗号化 ●電子メール社外送信時のセキュリティ措置(上司CC、添付ファイルの暗号化)
悪意による漏洩防止	ハード ●監視カメラの増強 ●PC盗難防止用ワイヤーロックの設置 ●外部記憶媒体への書き出し制限 ソフト ●機密保持の誓約 ●物品持出申請の強化 ●システム利用の記録、アクセス記録取得の監視 ●不正侵入防止対策の強化(インターネット) ●ファイルサーバへのアクセス制限 ●外部からの持込端末の不正接続防止
啓発活動(モラル対策)	●新入社員教育 ●チェックシートを使った全社機密管理自主点検 ●各部門への現地点検実施 ●標的型メールへの対応訓練

TOPICS

国内グループ会社の「機密管理現地監査」を実施

豊田合成グループでは共通のセキュリティガイドラインに基づき機密管理を自主点検しています。2016年度は、その評価結果の妥当性を確認するため、豊田合成(株)の担当者が国内のグループ会社11社を訪問し監査を行いました。自主点検結果と証明書類を照合し、評価の見直しが必要な項目は改善ポイント・計画を指導。電話やメールでは伝えきれない機密管理の意図や目標値などを現地現物で共有しました。



各社の規定・要領の内容がガイドラインの設問を満たしているかを確認している様子